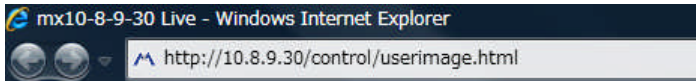


MOBOTIX Eメールの設定方法

1. ブラウザから設定したいカメラにアクセスします。

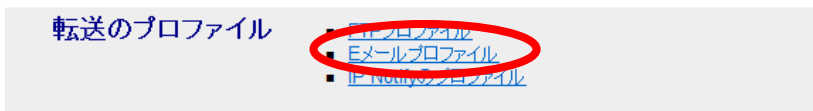


2. カメラの「Admin Menu」をクリックして、ユーザ名とパスワードを入力します。

初期ユーザ名 : admin
初期パスワード : meinsm



3. ページ中部の「転送のプロファイル」から「Eメールプロファイル」をクリックします。



4. ページ右下に「一部」のボタンがあることを確認します。「全体」の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。
5. カメラのメールアドレス情報を入力します。この部分に関しては、必ずメールサーバ管理者に必要情報を予め確認を取っておきます。

送信者アドレス:カメラが使用する送信アドレスになります。このアドレスで、後ほど担当者のメールアドレス宛てにメールが届きます。

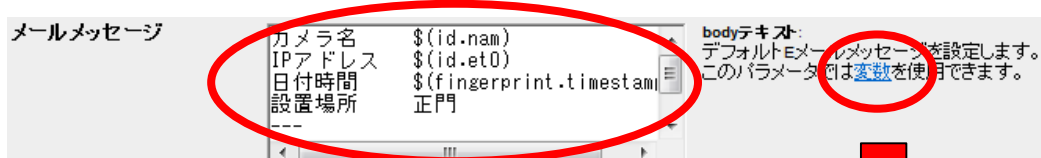
設定例 : test@test.mobotix.jp

アドレス指定

送信者アドレス
デフォルト送信者アドレスです。
このパラメータでは**変数**を使用できます。

6. 送信するメールの本文/テキストメッセージを入力します。

こちらのメッセージにはカメラの変数を使用して、カメラ情報を入力することが可能です。変数は、右の[変数](#)のリンクをクリックしてヘルプページを参照してください。また、変数はアドレス、件名やテキストメッセージなど、右の説明にリンクがある項目で使用することが可能です。



MOBOTIX M1 ヘルプ

変数の使用方法

変数は様々なダイアログで使用され、実行中に実際の値に置き換わります。

- **FTPプロフィール**ダイアログ中のファイルまたはディレクトリ名。
- **Eメールプロフィール**ダイアログ中の主題または本文。
- **Messaging**ダイアログ中の様々なネットワークメッセージ。
- **テキストと表示設定**ダイアログ中のコメント。

注意:

- 以上に紹介した変数とは別に、**ダイナミックテキスト用プレースホルダー**を使用することができます。
- シリアルインターフェースに接続されている**固定ウェルステーション**の1つからデータを受信すると、**ウェルステーション**により画面上に実時データを表示できます。
- 変数には大文字小文字の区別は**ありません**。
- フォーマットの変数に関する情報は、このヘルプ画面の**フォーマットのオプション**を参照してください。
- アンダースコアで囲まれているのは変数のオプション部分なので、使用する必要はありません。

変数の説明

変数は以下のシンタックスに従います。
\$(GROUP.VARIABLE[,フォーマットオプション[...]])

変数	説明	注意
LEV / LASTEVENT-最新イベント		
\$(LEV.DATE)	最新イベントの日付と時間	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
\$(LEV.TIME)	最新イベントの時間	hh:mm:ss
\$(LEV.SECONDS)	最新イベントの秒数	秒
\$(LEV.RELATIV)	最新イベントからの経過時間	hh:mm:ss
EVT / EVENT-イベント		

7. 次にサーバ設定で、使用するメールサーバ情報を入力します。この部分に関しては、必ずメールサーバ管理者に必要情報を予め確認します。

認証方法：カメラがサーバにアクセスする際の認証方法を設定します。



SMTP サーバ：SMTP サーバの IP アドレスを入力します。もし、ローカルネットワーク外のメールサーバを使用する場合やドメイン名でサーバ指定をおこなう場合は、必ずカメラのデフォルトゲートウェイと DNS サーバの確認をしてください。

(Admin Menu → イーサネットインタフェース → ルーティング/ドメインネームサービス)

SMTPサーバ:
デフォルトSMTPサーバの名前またはIPアドレスです。(必須)
デフォルトポートは25です。違うポートを使用する場合は、名前かIPアドレスの後にコロンで区切って番号を入力します。

POP3サーバ: POP3サーバのIPアドレスを入力します。もし、ローカルネットワーク外のメールサーバを使用する場合は、必ずカメラのデフォルトゲートウェイとDNSサーバの確認をしてください。

(Admin Menu → イーサネットインタフェース → ルーティング/ドメインネームサービス)

POP3サーバ:
デフォルトPOP3サーバの名前またはIPアドレスです。
デフォルトポートは110です。違うポートを使用する場合は、名前かIPアドレスの後にコロンで区切って番号を入力します。

ログインユーザ名/ログインパスワード: メールサーバにアクセスするためのユーザ名とパスワードを入力します。

ログインユーザ名:
認証用ユーザ名のデフォルトです。

ログインパスワード:
認証用デフォルトパスワードです。

- 次に送信したい相手の設定を行います。はじめにプロフィール名を入力します。後ほど、**SetupMenu** のメッセージ送信でイベントと関連付けを行うために使用するプロフィール名です。*必ず英数字で入力してください。

- 続いてメール送信したい相手の宛先アドレスを入力します。

アドレス指定

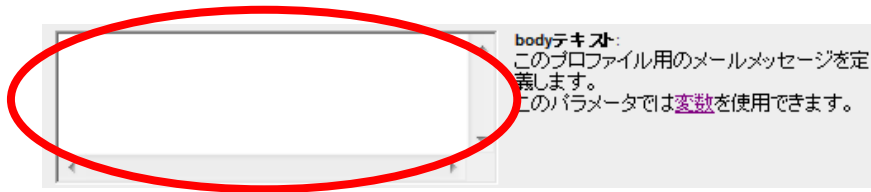
宛先アドレス:
受信者リストです。複数のアドレスを区別するには、コンマを使用します。
このパラメータでは変数を使用できます。

- 送信メールの件名/題名を入力します。

メールメッセージ

件名テキスト:
メールの件名です。
このパラメータでは変数を使用できます。

- Body** テキストでは、各プロフィールで別々の本文を入力したい場合は、こちらのプロフィール内の **Body** テキストをそれぞれ入力します。空欄にした場合、「6」で設定したメールメッセージで送信します。



12. E メールアタッチメントでは、メールに添付する資料を選択します。

アタッチメントなし：添付ファイルなし



画像プロフィールからの画像：ライブ/イベント画像を添付

画像プロフィール：予め画像プロフィールにて作成した画像で送信します。

これにより、ライブ画像は **Mega** サイズなどでも、Eメールのアタッチメントに関しては **CIF** サイズなど小さな画像でも送信することが可能です。



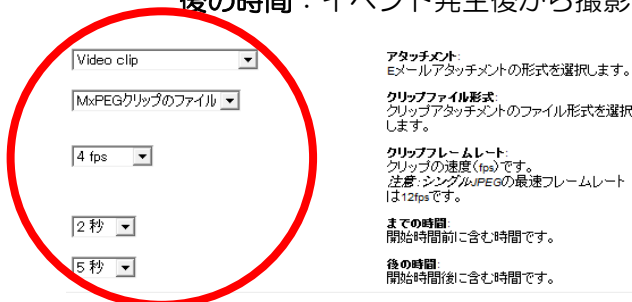
Video clip：動画を添付

クリップファイル形式:クリップにしてまとめるファイル形式を「**MxPEG** クリップ」か「**Single JPEG**」から選択します。

クリップフレームレート：フレーム数を設定します。

までの時間：イベント発生前に遡って撮影する時間を設定します。

後の時間：イベント発生後から撮影する時間を設定します。



画像情報(JPEG コメント): JPEG 画像ヘッダの画像情報を添付

システムメッセージ:カメラのシステムメッセージを添付

システムメッセージの範囲:システムメッセージの範囲を時間で指定します。

Web Server Log:カメラ Web サーバのログファイルを添付

13. サーバ設定(オプション)では、各プロファイルで別々のサーバ情報を入力したい場合は、それぞれ入力します。(グローバル設定)にした場合、「7」で設定したサーバ情報で送信します。

14. **Signature:Web サーバ SSL 認証(S/MIME format)**によるデジタル署名を行いメール送信

15. **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存します。

以後、一つの設定項目で設定変更が終了した場合、必ずこの動作を行います。



16. 再度カメラの「Admin Menu」をクリックして、ページ上部の「ネットワーク設定」から「ネットワーク設定のチェック」をクリックし送信テストを行います。

ネットワーク設定のチェックのページでは、必ずポップアップブロックの設定は解除します。

ネットワーク設定

- [簡易設定](#)
- [ネットワーク設定のチェック](#)
- [インターネット接続のチェック](#) (エキスパート用)

17. 画像転送の中から設定した E メールプロファイルのプロファイル名(設定例:AlarmMail)を見つけ、その右隣にある **転送** をクリックしてテストを行います。

Eメールプロファイル 'AlarmMail' サーバ: 10.0.0.68
 送信者(from): test@test.mobotix.jp **転送** テストしていません。
 受信者(to): document@test.mobotix.jp

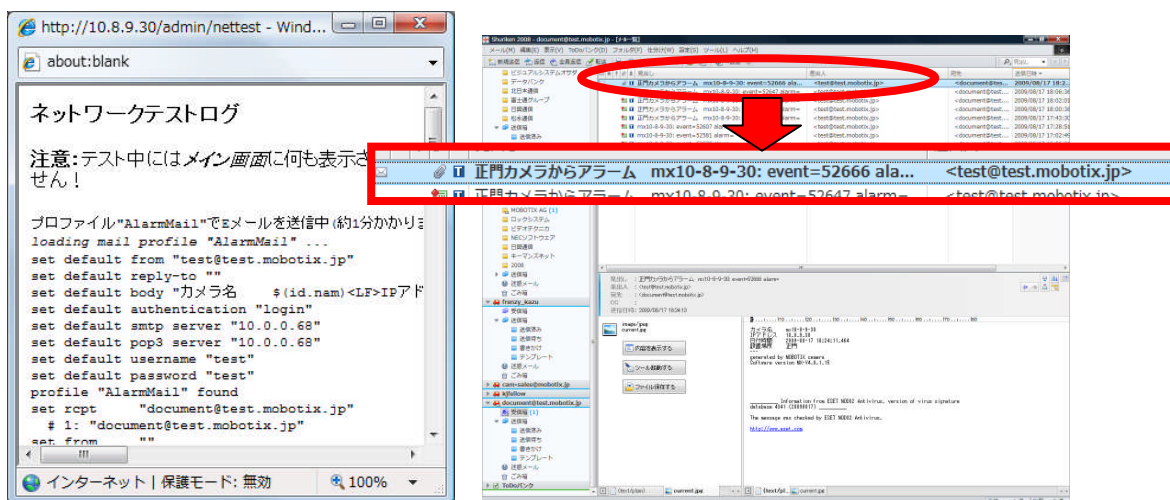
18. 通信テストを行い、成功すると **転送** の隣に「Eメール送信完了!」と記載されます。

もし、赤字でエラーが表示されメールが届かない場合等は、ポップアップページのカメラ通信ログやメールサーバログを、メールサーバ管理者と確認してください。

Eメールプロファイル 'AlarmMail' サーバ: 10.0.0.68
 送信者(from): test@test.mobotix.jp **転送** **Eメール送信完了!**
 受信者(to): document@test.mobotix.jp

ネットワーク通信ログ

メール受信画面



19. 次に **Setup Menu** を開き、イベントと関連付けを行います。
 まず、**Setup Menu** の「イベント共通設定」開き、動作待機が「使用可」に設定します。



20. 次に **SetupMenu** の「イベント設定」で、メール送信したいカメラのイベントを設定します。



21. 最後に **Setup Menu** の「メッセージ送信」もしくは「メッセージ送信 2」を開き、イベントと E メールプロファイルの関連付けを行います。

メッセージプロファイル：使用可に設定します。

メッセージプロファイル

メッセージプロファイルを使用可にします。このメッセージプロファイルを制御します。使用可: プロファイルを起動します。

タイムテーブル：E メール送信する時間を制御します。応用マニュアル「タイムテーブル」をご参考ください。

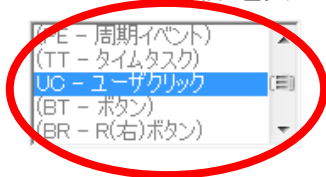
Time Table Profile: このメッセージプロファイルのタイムテーブルです。(タイムテーブル)

メッセージ動作のデッドタイム：一度目の送信からデッドタイムを設け、連続する無用なメール送信を防ぎます。

メッセージ動作のデッドタイム: 新しいアクションを実行するまでのメッセージ動作タイムアウト [0..3600 秒] です。

イベント選択：E メール送信したいイベントを選択します。グレイアウトしているイベントは有効になっていません。イベント設定で有効にしてから択してください。

複数選択したい場合は、「Ctrl」キーを押しながら、左クリックをします、



イベントの選択: メッセージをトリガするイベントを選択します。1つ以上のイベントを選択するには [Ctrl] キーを押しながらクリックします。ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。フィルタイベント用の EC または EL。

22. アクションの E メールアクション(EM)で、E メールプロファイルで設定したプロファイルを選択して設定します。



23. 画像内右下に「EM」のシンボルが追加にされたことを確認します。最後に選択したイベントが発生すると、「EM」のシンボルが水色に変化することを確認します。



24. メーラーでちゃんとカメラから E メール発報があったことを確認し設定終了です。

